

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年1月5日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690300076
法人名	有限会社 メディカルウィル
事業所名	グループホーム 輝望の家
所在地	鹿屋市輝北町上引1919-1 (電話) 099-471-3456
自己評価作成日	平成26年11月14日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成26年11月28日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・施設の周辺は畑や木々に囲まれており、静かで、空気かきれいです。
- ・共用空間は広々としており、歩行器の方や車椅子の方でも自由に移動ができます。また、ゆったりのおんびり過ごせるよう、食堂の空間、リビングの空間をそれぞれ配置しています。
- ・入浴は清潔の保持、気分転換を目的に日曜日以外は毎日入っています。その際、音楽をかけたり、入浴剤を使用したりして、リラックスして入浴できるよう工夫しています。
- ・身体機能の維持・増進に関しては、毎朝ラジオ体操を実施し、その他にも午前・午後にリハビリ体操やレクリエーションを実施して身体機能の維持・増進に努めるとともに楽しく生活できるよう支援しています。
- ・近隣の方の畑を借りて、利用者様と一緒に旬の野菜作りを行っています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 市街地よりやや離れ、周囲は田園が広がる自然豊かな環境で、敷地はたいへん広く総合輝北ケアセンターとして同一法人のデイサービス、ミニデイサービス、有料老人ホームと隣接して建てられているホームである。各施設は季節の行事や避難訓練・緊急時の対応など、相互に連携・協力して一体となって実施している。
- 地域との交流は非常に活発であり、日常的に福祉に関する相談を受けたり、台風時はデイサービスの利用者の避難場所として提供するなど、福祉の拠点として地域の信望は厚い。清掃活動や地域の行事、保育園の運動会等への参加とともに、日常的に散歩や買い物に出かけ地域の方々や挨拶や会話を交わしている。中学生の職場体験等の受入れ、ホームの夏祭りや敬老会等には家族や地域の方々の参加があり、利用者はこれらの交流を楽しみにしている。
- 災害対策においては、併設の関連施設共に、消防署や地域の消防団・住民の協力のもとに実施している法定訓練以外に、3ヶ月に1度は自主訓練も行っており、設備や食料・飲料水等の準備の充実とともに、マニュアルの整備や研修体制の構築など非常にその意識は高い。
- 管理者は、良好なチームワークのもとで利用者のケアに取り組むことが大切と考えて、ケアやミーティング等の際に自由に意見が言える雰囲気づくりに努めている。そのため職員相互の信頼関係も築かれ、利用者へのケアや接し方について日頃から話し合いも十分になされ、ケアに関する各種の記録も適切に維持・共有されている状況で、日々業務改善やサービス向上に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、出勤者全員で理念を朗読しています。また、理念にかかげている家族や地域との交流を大切に支援を行っております。	理念及び職員の行動指針である「7つのアクション」を掲げて、家族や地域とのつながりを大切にしながら利用者の思いをくみ取り寄り添うケアの実践に努めている。毎朝のミーティング時に全員で唱和し理解を深め共有を図るとともに、新人教育でも理念の意義などを説明している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	事業所の行事には、地域住民の参加を呼びかけボランティアで参加していただいたり、地域の行事にも参加して交流を行っています。集落にも加入して、毎月発行される広報を活用し、利用者様への情報提供などに役立てています。	地域振興会に加入し、広報紙で案内される清掃活動や地域の行事、保育園の運動会等に参加したり、日常的に散歩や買い物に出かけ地域の方々と挨拶や会話を交わしている。中学生の職場体験等の受入れ、ホームの夏祭りや敬老会等には家族や地域の方々の参加があり、利用者はこれらの交流を楽しみにしている。また、台風等の際には、独居のデイサービス利用者の避難場所としても提供している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会時に市役所の地域振興課職員も交えて地域住民の代表者に実践報告や現況報告を行い、認知症の理解を深めて頂けるよう努めている。又、地域住民の代表者からの事例を伺い、アドバイスをを行い、協力を行うように努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、利用者様の状況報告や作成した新聞を活用しての行事内容説明や今後の行事予定等を報告し、参加者様の意見や評価を頂いています。又、地域における状況も伺い、意見交換や情報の共有と連携を図っています。	会議は利用者や家族・民生委員・地域住民・行政や消防署の職員・駐在さんなど多くの委員が参加して定期的に開催されている。利用者及びホームの現況報告や外部評価結果の報告、行事・課題等についての話し合いを通じて認知症やホームの役割の理解を深めて頂くように努め、委員からの助言や提案、地域の情報等を職員で共有して日々のサービス向上に役立てている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	高齢福祉課地域支援係りの方を通じて、研修や災害情報などの情報の提供をこまめに頂いたり、市が開催する集団指導に参加して、事業所の運営に役立てています。また、運営推進会議を通じて、情報交換を行なっています。	市担当者には運営推進会議や行事にも参加頂き意見や情報の交換を行っている。また、電話やメール、訪問の際にも意見交換のほか助言や情報を提示頂くとともに、市主催の集団指導にも参加してより良い協力関係を築くように努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	管理者を中心に、身体拘束廃止委員会を設置しているとともに、身体拘束についての勉強会では、身体拘束がもたらす影響を全職員が理解して、ケアに取り組むよう、努めています。	高齢者の権利擁護や身体拘束に関する研修は、毎月開催の職員会議及びセンター会議で実施して理解を深めるとともに、日々のケアの中で職員が連携して工夫に取り組みサービスの質向上に努めている。また、身体拘束廃止委員会の設置やマニュアルも整備され、安全を確保しながら利用者の自由な暮らしを支援している。近所の方々には見守りや声かけをしてもらえるような良好な関係を築いている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修に参加したり、研修資料を参考にして勉強会を行い、職員全員が学ぶ機会を設けている。勉強会で事例を確認し虐待の見逃しがないように注意を払い防止に努めている。虐待防止マニュアルを作成し、事務所に置きいつでも目を通せるようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者や職員は、権利擁護の研修に参加し、それを元に皆で勉強会を行い、全職員で理解を深め、それらを活用できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時や解約時は、家族や本人に十分な説明を行い、又、利用者様や家族等の不安や疑問点について伺い、納得されるまで説明を行い、理解、納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	アンケート調査の結果や、家族会等の交流時に要望等を聞いて、事業所の運営に役立てています。また、ご家族の方が気軽に要望を言える雰囲気作りに努めています。	利用者の思いや意見は日常会話や見守りなどで把握に努め、ご家族とはアンケートの他に、来訪時の対話や家族会・行事の際に話しやすい雰囲気づくりに努めて多くの意見を頂いている。日々の申し送りやノート、毎月の職員会議で内容の共有を図り、必要な対応を協議・実行し、ご家族にも電話や写真掲載のホームの新聞で速やかに報告して信頼関係の構築にも取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月1回の職員会議やセンター会議に出席し、職員の意見に耳を傾け、全体で話合い、運営に反映させています。また、管理者は毎日のミーティングに参加し、場合によっては臨時の職員会も設けています。	職員の意見や提案は、日々のミーティングや職員会議、センター会議、年2回の個別面談等を通じて聞き取り、業務改善やサービスの質向上につなげるように努めている。管理者自身が日常の業務の中でも話しやすい雰囲気づくりを心がけ、職員個々に合わせた問いかけも行うようにしている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	毎月のタイムカードや勤務表を確認し、職員の勤務状況の把握に努めています。また、人事考課を通じて、職員が向上心をもって働ける取り組みに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>訪問時に介護現場の状況を確認するとともに、人事考課を通じて、職員の力量し、研修への積極的参加を呼びかけています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>代表者は、毎月法人会議を実施し、管理者は会議に出席し、他の事業所との交流や、情報交換の場を設けています。また、職員は他の事業所へ訪問する機会を設け、自施設でのサービスの質の向上に生かしていかしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスを導入する段階で、本人の話を傾聴し本人が困っていること、不安なこと、要望に対してのサービス内容を一緒に考えたり、提案したりして納得を得た上で、安心して生活が送れるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを導入する段階でご家族の困り事や不安なこと、要望を傾聴し、それに対応するサービス内容を一緒に考えたり、提案し、なんでも相談できる雰囲気作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスを導入する段階で、入所時のアセスメントや、情報提供表等で本人の状態を把握し、本人と家族の意向を傾聴し、又、言動をよく観察し、ニーズを把握した上で、他のサービスも含めたサービスを提案させていただいています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様と一緒に食事をして、団欒する機会を設けています。また、レク体操や、行事等に参加して一緒に楽しめる雰囲気づくりに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月新聞を発行し、近況報告を行ったり、面会時には一緒に団欒できる環境を作って家族との絆を大切に支援しています。また、家族の面会時や電話等では、コミュニケーションを大切にし、関係性を築いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みのお店や、お墓参りに行ったり、また、地域の行事に参加したりして、馴染みの人や場との関係が途切れないように支援に努めています。	入所時の聞き取りや本人・ご家族との会話から把握できた希望を、支援経過記録や介護記録・業務日誌等に記述して支援に活かしている。必要に応じてご家族の協力も得ながら、近隣の散歩やドライブ、墓参り、馴染みの商店での買い物、地域の行事や花見などに出かけている。併設の関連施設を利用される方々や来所される友人・知人との交流も積極的に支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係性を把握し、リビングでは、気の合う利用者様同士で座って頂いたり、なかなかお話をされない方がいらっしやても職員が間に入り、利用者様同士が関わり、支えあえるよう支援に努め、孤立しないよう配慮しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院でサービス利用が終了しても、定期的に面会に伺い、経過観察をしたり病院スタッフや家族の方とも連携を図り、相談等にも対応し、関係性を断ち切らない取り組みに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの暮らし方の希望や意向は、初期の段階で把握するとともに、定期的に希望や意向を伺い、利用者本意の生活の支援に努めています。	利用開始時のアセスメントのほか、ご家族からの聞き取りや毎日の暮らしの中で思いや希望を具体的にくみ取るように努めている。内容は日々の申し送りや介護記録、ケアプランへの記載等で共有を図り、ご家族とも相談しながら利用者本位の最良の支援に結び付くように取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や、ご家族からこれまでの生活歴や、生活環境等の情報を収集し、これまでの生活の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの1日の言動や過ごし方、心身の状況等観察を行い、記録に残し、全職員が現状把握できるように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月ごとのモニタリングや日々の状況変化が見られた時、本人、家族、職員等で話し合いを行い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成しています。	介護計画は、利用者本人や家族との話し合い、主治医や看護師等の意見を基にして、職員等関係者と十分に話し合い利用者本位のわかりやすい内容のものを作成している。また、定期的な評価や見直しの他、利用者や家族の要望、また、状況の変化に応じて、臨時職員会議を開きプランの見直し・修正を適切に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践、気づき等を個別記録に記入し、朝礼や職員会等で意見を出し合い、実践や介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	時間にゆとりのある日課を作り、ご本人や家族の状況、その時々生まれる様々なニーズに対応できる柔軟な支援に取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議を通して、消防署、駐在所、民生委員、地位奇異の方々との意見交換・情報交換を行い、利用者様が安全で豊かな生活を送れるよう努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	もともとのかかりつけ医への受診を支援し、また、かかりつけ医の変更が必要な際には、本人と家族が納得した上で、主治医より情報提供書をいただき、引き続き安心して治療を受けられるよう支援するとともに、病院との連携に努めています。	利用前の受診状況の十分な把握に基づき、本人や家族が希望する医療機関を受診できるように支援している。通院は主として職員が同伴し、受診結果は介護記録や支援経過記録簿に記載して職員を始めとする関係者で内容を共有している。また、医師や家族との意見交換・情報交換も電話が主体ではあるが十分に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員が全身観察ができる入浴時や、対話等で身体いおける状態や変化を看護職員に報告し、早期発見・早期受診できるように、努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院受診の際に、入院が決まった場合、病棟に入院するまでの間、看護師が付添い、病棟スタッフへ申し送りを行うとともに、情報提供書を作成し、病院スタッフへ提供しています。入院中は定期的に訪問し、本人と話したり、スタッフから近況状況の報告もらい状態把握に努めるとともに、退院前には本人、家族、様々な職種のスタッフ等と退院後の生活についてカンファレンスを行い退院後も安心して生活を送れるように努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の方針は、契約時に本人やご家族へ説明し、同意を得ていますが、終末期に近づいた場合は再度、ご家族や主治医と話し合い、方針の確認を行ってチームとして支援できるよう努めています。	重度化や終末期の対応については、入所時に「重度化した場合の対応に係る指針」で説明して本人やご家族の同意を得ている。実際に重度化した時点では再度詳しく説明して意向を確認し、主治医の協力を得ながらホームで行える必要な支援を実施できる体制を築いている。また、看護職員が介護職員に対して必要な支援に関して指導も実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時の対応として、定期的に勉強会を実施しているとともに、年に1回、普通救命講習を受けて、知識や技術の習得に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回災害訓練を実施しており、その際、日中・夜間両方を兼ねて訓練を行っています。また、地域住民の方々の参加協力も頂いて実施しています。</p>	<p>消防署の協力のもと、年2回は地域の消防団や住民も参加した夜間想定を含む避難訓練を、併設のケアセンターと合同で行っている。また、関連するマニュアルの整備や研修も適切に行われているなど、防災に関する意識は高い。スプリンクラーや自動通報装置等の設置、食料や飲料水・関連備品等の準備も十分な状況である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常生活においての対応時には自尊心を大切に声かけや対応を行っています。特に、入浴時や、排泄時などは介助が必要な際でも、自尊心やプライバシーには十分に配慮して声かけや対応を行っています。	利用者の人格を尊重し、日常のケアで利用者の誇りやプライバシー確保に関して不適切な対応や言葉かけを行わないように、日常のミーティングや勉強会を通じて方法を検討、共有して支援している。また、職員は半年に1回、ヒューマンスキルチェック表で自身のケアを振り返っている。利用者の各種の記録や居室の保護にも十分に配慮がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、意向を常々聞いて対応するよう心がけています。また、利用者様の表情はよく観察し、自分から訴えない方でもサインを見逃さず、個別で対応するよう働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大きな流れの日課はあるが、利用者様一人ひとりの体調やその時の気分に合わせて対応し、自分のペースで過ごせるよう配慮しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床時に着たい服を選んだり、外出時には利用者様が着たい服を選べるよう支援をしています。また、散髪などは利用者様から「そろそろ髪を切りたい」訴えがあった時は都度対応し、自分から発言しない方へは、スタッフから尋ねて支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	輝望の家農園では利用者様を中心に季節の野菜を育て、野菜の皮むきなどを一緒に行っています。また、個々の疾患や嗜好などがあっても、楽しく、美味しく召しあっていたけるよう支援しています。	1か月の献立を基本に利用者の好みも反映させて、利用者と栽培・収穫した野菜も利用しながら野菜の下ごしらえや食事の片づけなどにも参加してもらい、楽しく食事できるように工夫している。季節の行事食や誕生会等の特別食、弁当持参の外出、おやつ工夫や中庭でのお茶会など、可能な限り多くの工夫をして楽しい雰囲気づくりにも取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日を通して必要な食事量や、水分が摂れるようチェック表で把握したり、その日の気分や体調により摂取量が不十分場合は、その都度、食べたい物や、飲みたいものを伺って、できる限り対応し、必要な栄養や、水分が摂取できるよう、工夫しています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアは行い、その方のADLの状況に合わせて介助、見守り等を行い、口腔内の清潔が保てるよう、支援しています。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	夜間オムツ使用の方でも、日中はできるだけ、リハビリパンツなどを使用し、排泄パターンを把握したうえで、声かけや誘導を行いトイレでの排泄ができるよう支援しています。	利用者個々の習慣や身体機能に応じた排泄支援になるように排泄チェック表とともに、必要な場合はバイタルチェック表も活用して、不安・羞恥心にも十分配慮しながら可能な限りトイレで排泄できるように支援している。一連の対応は職員が十分に話し合い、利用者個々のケアプランにも組み込んで実践に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎食の食事で野菜を摂取できるよう工夫したり、水分はこまめに補給しています。また、看護師を中心に排便の状況を把握し、個々に応じた対応(運動推進、水分補給、腹部マッサージ、病院と連携し緩下剤の服用等)を行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	日曜日以外は毎日入浴支援を行っています。その際、毎朝、一人ひとりに声かけし、順番の希望を聞いたり、体調に合わせて入浴のタイミングを図るなどの工夫しています。また、入浴中は音楽をかけたり、入浴剤を使用したり、会話を楽しんだり心身ともにリフレッシュできるよう支援しています。	日曜日以外は毎日でも入浴可能であり、利用者の健康状態や安全面には十分配慮し、本人の好みや習慣をくみ取れるように努め、入浴が楽しめるように支援している。現在は利用者全員スムーズに入浴して頂いているので、入浴中はゆっくりと会話を楽しみ、良いコミュニケーションを心掛けています。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様一人ひとりが自分のペースで休息できるよう支援しています。その際、室温・湿度・の調整、カーテンや照明などの工夫、寝具調整などを行い、安心して快適に安眠、休息できるよう、支援しています。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師を中心に一人ひとりの疾患や、内服薬の把握に努め、投薬の際には、日付・氏名・曜日・○食後と読み上げて誤薬防止に努めるとともに、症状の変化には十分きを配り、異常の発見時にはすぐに看護師へ報告し、病院との連携にも努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>生活暦を生かして、利用者様一人ひとりが日常生活の中で役割分担・共同作業(食事の下ごしらえ、洗濯物を干す・たたむ等)を行ったり、畑での野菜作りに励んだり、季節や希望に応じてスポーツ観戦や、お墓参り、買い物等の支援を行い、気分転換を図り、楽しみがもてるよう、支援しています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>一人ひとりの希望に沿って、散歩やドライブ、買い物、お墓参り等に外出できるよう支援しています。また、外出の目的に応じて、家族や地域の方の協力もいただいております。</p>	<p>利用者の希望は日常会話を通じて把握に努め、時には地域の方々やご家族の協力を仰ぎながら、地域の行事やイベント、季節の花見や運動会、外食など、季節に合わせた外出を企画・支援している。日常的には天候にもよるが、デッキでの日光浴を兼ねた茶話会や、個別に近隣の散歩や買い物・ドライブ・墓参りなど、外出が楽しみになるように支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>日常生活の中で、一人ひとりの希望や力に応じてお金を所持したり、買い物の際には使用できるよう支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望に応じて、いつでも施設の電話が利用できるように支援しています。また、遠方の家族の方から本人へ贈り物が届いた際には必ず、贈り主へ電話をし、荷物が届いた事の連絡や、家族と本人がゆっくり会話を楽しめるよう支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには季節の塗り絵やちぎり絵、花などを飾り、湿度や温度などは快適に過ごせるよう、適宜調整しています。また、トイレの便座は常時電気で温めており、気持ちよく使用していただけるよう配慮しています。	敷地は広く大きなウッドデッキがあり、季節に合わせてお茶のみや日光浴が楽しめる。天窗のあるリビングは木目調でゆったりと明るく、室温や換気にも十分な配慮が感じられ、利用者になるべく家庭的な雰囲気の中で過ごせるように、照明器具やテーブル・ソファ・イス等にも十分配慮しており、随所に利用者の作品が飾られて気持ち良く寛げるように工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間のフロアにソファや椅子を配置し、のんびり、ゆったり過ごせるように、一人ひとりの椅子を配置しています。また、気の合う利用者様同士思い思い過ごせるよう椅子の配置など工夫をそめています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様やご家族と相談し、使い慣れた家具や物を使いやすいように配置したり、寝具なども使い慣れたものを持ち込み、ゆっくり安心して眠れるように工夫しています。	居室のガラス窓は大きく、日当たりも良いため明るい。ホームが準備したエアコンやベッド等のほかに、本人やご家族の希望に沿って使い慣れた家具や身の回りのものを自由に持ち込んで頂き、その人らしく落ち着いて暮らせるように支援している。何より利用者が暮らしやすいように、本人やご家族からの日常生活等の希望にも柔軟に対応できるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共用のトイレには「トイレ」と分かりやすいように貼り付けたり、居室へは自分の居室が分かりやすいように利用者様ごとに、入り口に季節のものを飾って目印を置き、自由に居室とリビングを行き来し自立した生活が送れるよう工夫しています。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない